



高校生が相馬福島道路の工事現場を体験します。 ～建設業界の役割や魅力を伝えることを目的に現場見学会～

東北中央自動車道(相馬福島道路 霊山～福島)は、震災復興のリーディングプロジェクトとして、令和2年度の一部開通を目指して、事業を進めているところです。

このたび、県内の高校生約100名が、相馬福島道路の工事現場を見学し、土木工事の最前線を体験します。

この見学会は、(一社)福島県建設業協会が主催の建設工事現場見学事業で、平成2年度から県内の高校生等を対象に実施しているものです。

見学会を通して、高校生の皆さんに相馬福島道路の役割を理解していただくとともに、建設業の役割や土木工事の魅力に直接触れていただきたいと思います。

1. 日時

- <第1回>令和元年 6月12日(水) 10:50～14:20程度(県立喜多方桐桜高校 33名) 今回実施
<第2回>令和元年 9月19日(木) 時間未定(県立福島明成高校 40名)
<第3回>令和元年10月16日(水) 時間未定(県立二本松工業高校 40名)

2. 概要

東北中央自動車道(相馬福島道路)の工事現場にて、工事中でなければ見ることの出来ない土木工事の施工状況を見学していただきます。

見学会は全3回を予定しており、第1回は“(仮)富沢トンネル”、“(仮)東根川橋”、“(仮)桑折高架橋”で開催します。

【主なスケジュール】

- ・令和元年6月12日(水) 午前 10:50までに現地(別添位置図①参照)にお集まり下さい。
午後 13:20までに現地(別添位置図②参照)にお集まり下さい。
- ・<第2回>以降の予定については、別途お知らせいたします。

3. 取材について

- ①当日取材を希望される方は、事前にご連絡をお願いします。
②現場に入場する際はヘルメットの着用をお願いします。事前に連絡をいただければこちらで用意します。

※取材申込先：福島河川国道事務所 計画課 TEL 024-546-4331(代表)

<<発表記者会：福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ>>

【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所
福島県福島市黒岩字榎平36 TEL 024-546-4331(代表)

副所長(品確) たねいち まさる
種市 優 (内206)

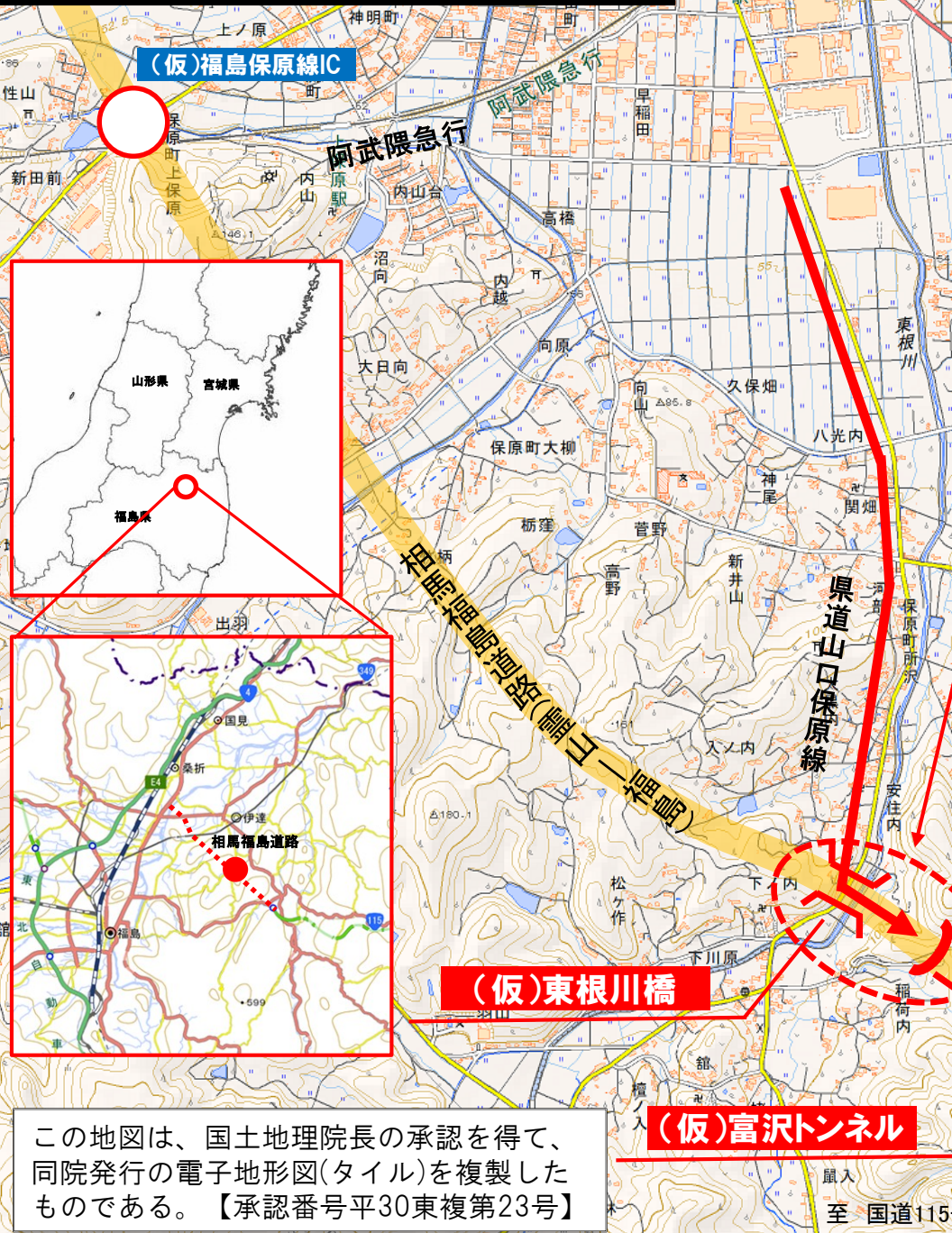
【事業に関するお問い合わせ】
工務第二課長 くらぬま まさとし
黒沼 正敏 (内411)

【見学に関するお問い合わせ】
計画課長 しもだ いちろう
下田 一朗 (内261)

◇ 見学会日時：6月12日(水) ,10時50分

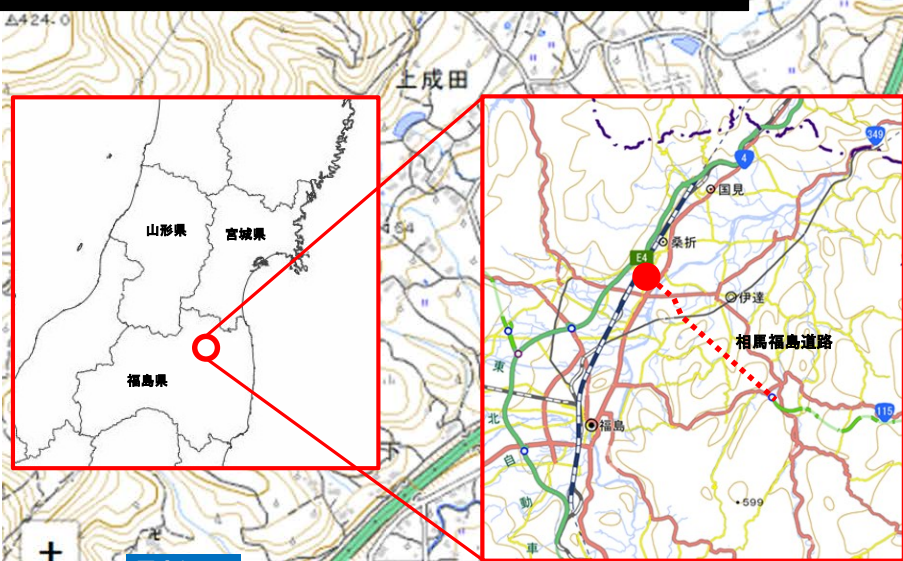
見学・集合場所

位置図①



【見学・集合場所】福島県伊達市保原町富沢 地内
※取材は事前申し込みをお願いします。
※県道山口保原線から先は誘導員が誘導します。

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。【承認番号平30東複第23号】



【見学・集合場所】福島県伊達郡桑折町字蒲田 地内
※取材は事前申し込みをお願いします。

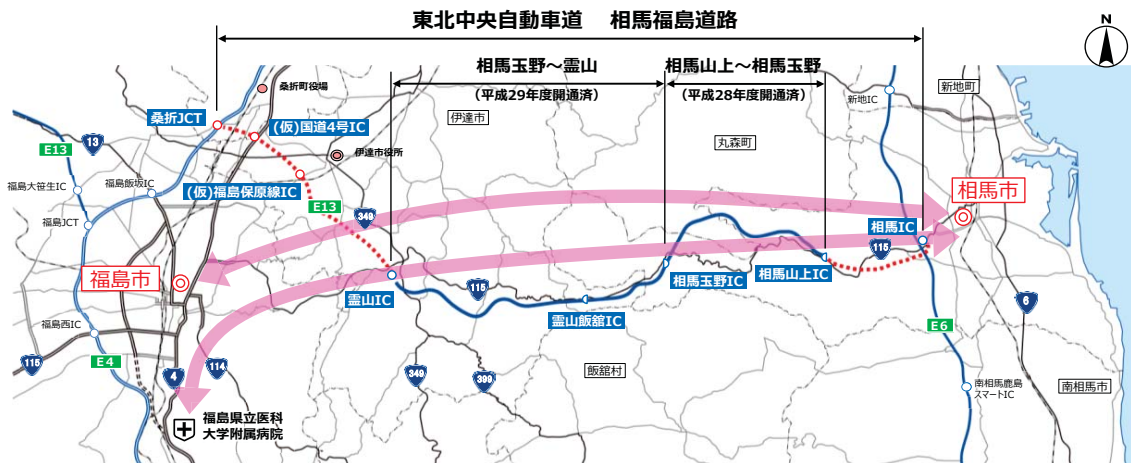
(仮)桑折高架橋

(仮)国道4号IC

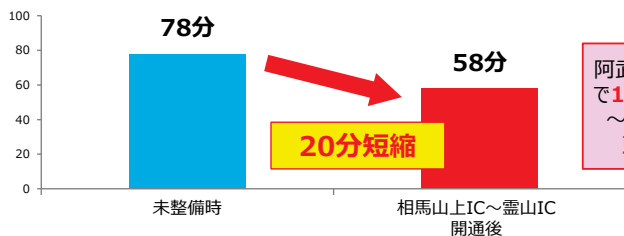
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。【承認番号平30東複第23号】

－相馬～福島間の所要時間が短縮－

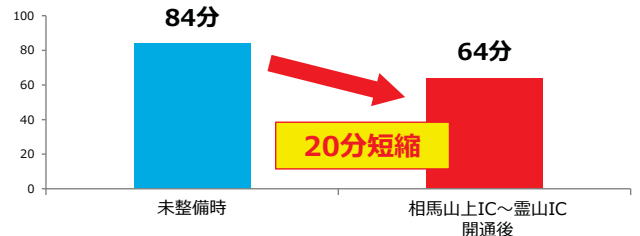
- ◆相馬福島道路（相馬山上IC～霊山IC）の開通により、相馬市～福島市間の所要時間は未整備時より20分短縮
- ◆救急搬送の速達性確保のほか、観光交流・企業活動の活性化を支援



▼相馬市役所⇄福島市役所の所要時間の変化



▼相馬市役所⇄福島県立医大病院の所要時間の変化

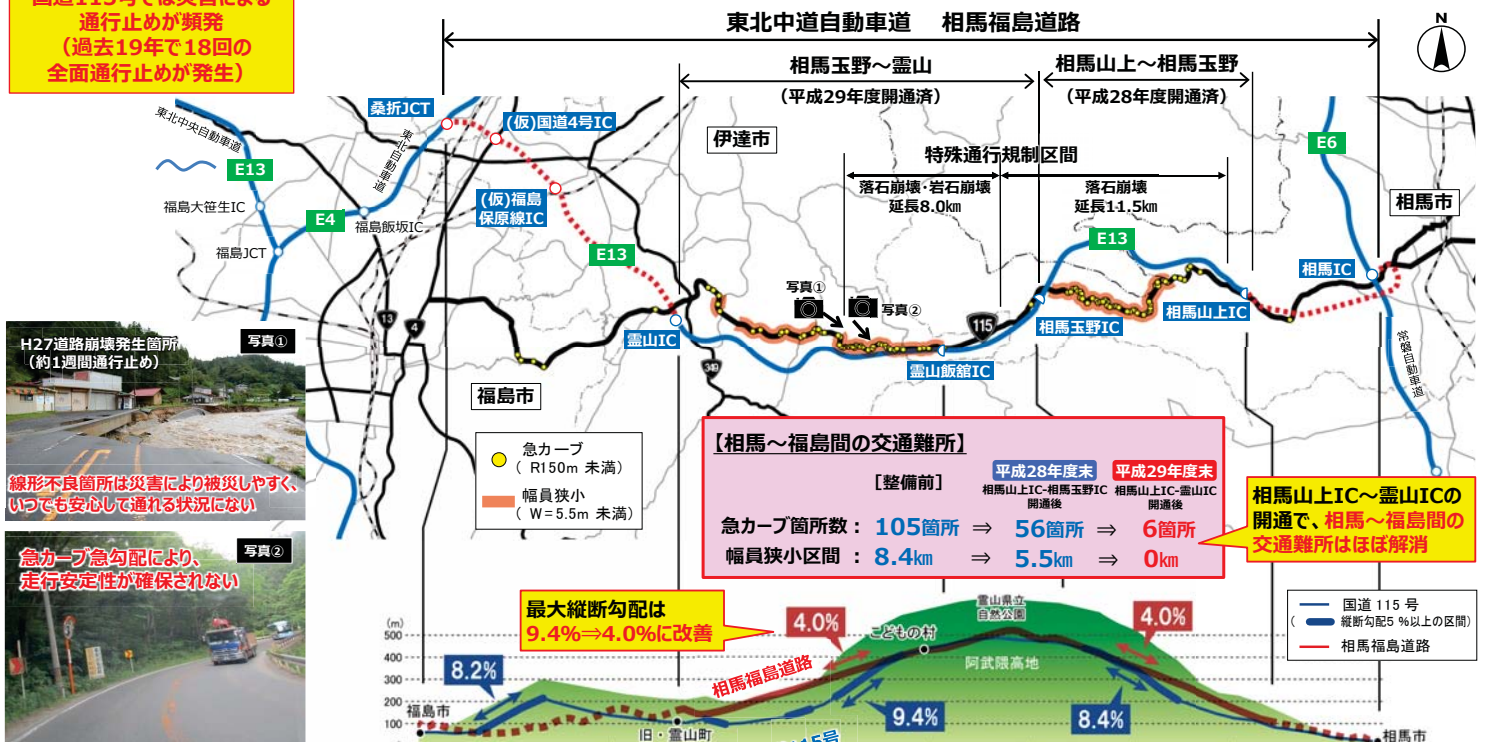


出典：H27年全国道路・街路交通情勢調査
 ※国道115号・相馬福島道路経由 ※相馬福島道路の区間は70km/hで算出

効果1：相馬～福島間の安全、安心な通行を確保

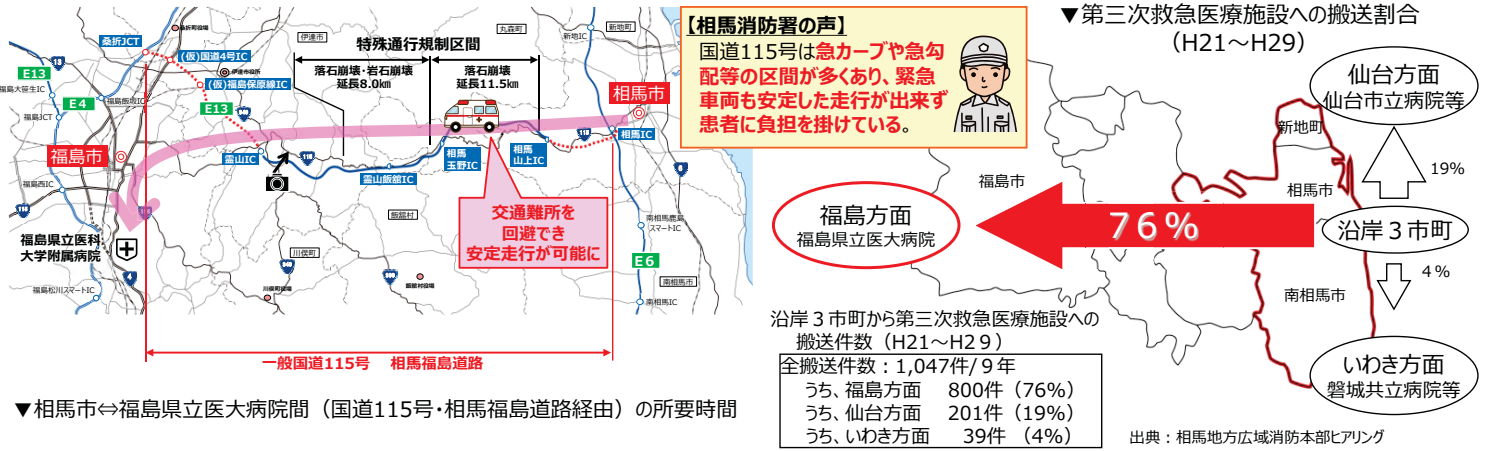
- ◆相馬～福島間を結ぶ国道115号は、急カーブや急勾配区間が連続し、災害等で通行止めが頻発
- ◆相馬山上IC～霊山ICの開通により、急カーブや急勾配、事前通行規制区間等の交通難所はほぼ回避できるようになり、相馬～福島間の安全、安心な通行を確保

国道115号では災害による通行止めが頻発（過去19年で18回の全面通行止めが発生）

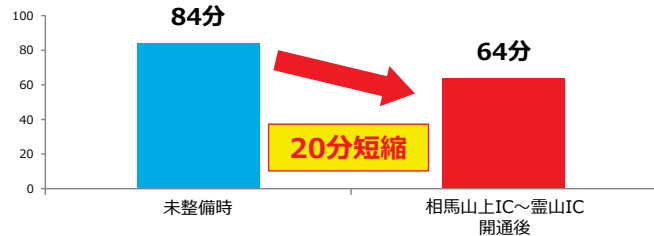


効果2：救急搬送の速達性・安定性を確保

- ◆相馬市等の沿岸部は、第三次救急医療施設がないため、福島市にある福島県立医大病院へ約8割が搬送
- ◆国道115号は線形不良箇所が多く、消防署からは搬送時の患者への負担が大きい等の課題を指摘
- ◆相馬山上IC～霊山ICの開通により、相馬市役所～福島県立医大病院間の所要時間は未整備時より20分短縮されるとともに、安定走行が可能となり、搬送時の患者への負担が軽減



▼相馬市⇄福島県立医大病院間 (国道115号・相馬福島道路経由) の所要時間



出典：H27年全国道路・街路交通情勢調査
※所要時間は相馬市役所～福島県立医大病院間で算出
相馬福島道路の区間は70km/hで算出

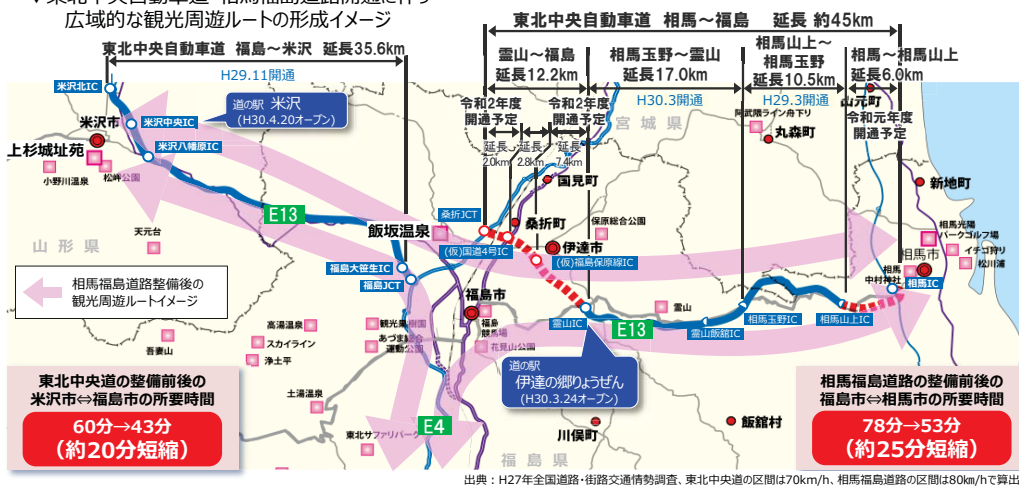


【相馬山上IC～霊山IC間 救急搬送状況】

効果3：交流人口の増加、活発な観光交流に期待

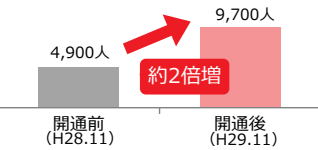
- ◆東北中央道 (福島～米沢) 開通後、福島市や米沢市内の観光施設において来訪者が増加 (約1.4～2倍増)
- ◆H30.3.24に開業した道の駅「伊達の郷りょうぜん」が開業後約4ヶ月で来場者70万人を達成、新たな観光・交流拠点の場を形成
- ◆相馬～福島間の整備により新たな広域ネットワークが形成され、更なる交流人口の増加と活発な観光交流に期待

▼東北中央自動車道・相馬福島道路開通に伴う広域的な観光周遊ルートの形成イメージ



■飯坂温泉 (福島市)

▼山形方面からの来訪者数の変化



出典：「混雑統計」@ZENRIN DataCom CO., LTD.
※「混雑統計」データは、NTTドコモが提供する「ドコモ地図ナビ」サービスのオートGPS機能を利用者より、許諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報を、NTTドコモが総体的かつ統計的に加工を行ったデータ。位置情報は最短3分毎に測定されるGPSデータ(緯度経度情報)であり、性別・年齢等の個人を特定する情報は含まれない。

道路開通に合わせた地域連携で山形方面からの観光客が増加

道路開通で地域連携

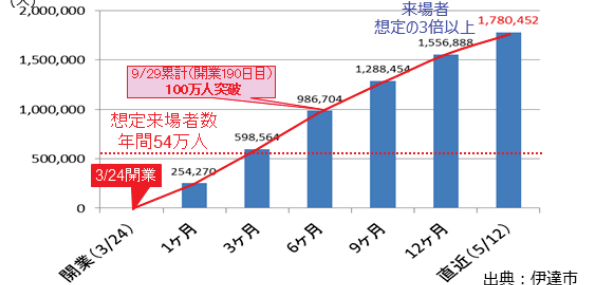


出典：平成29年11月8日 福島民報

■道の駅 伊達の郷りょうぜん (伊達市)



▼道の駅「伊達の郷りょうぜん」来場者数推移 (累計)



■上杉城史苑 (米沢市)

▼観光入込客数の変化



出典：上杉城史苑

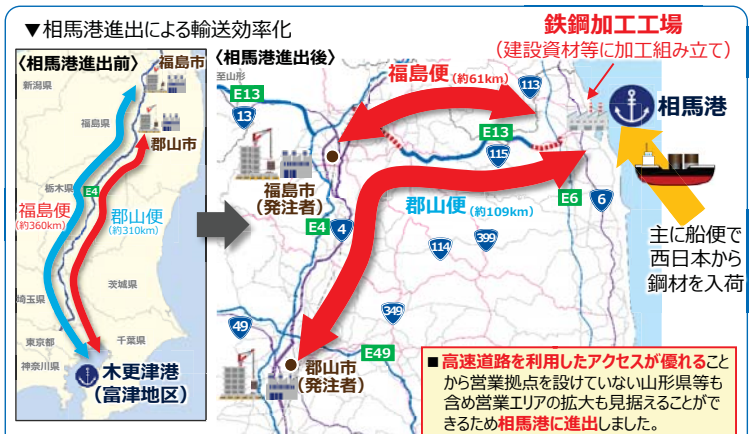
効果4：物流効率化で企業活動を支援

- 東日本大震災において甚大な被害が生じた福島県相双地域において近年工場の新設等の企業の進出が顕著であり、中でも相馬福島道路の整備により内陸部へのアクセス性が強化される相馬港背後圏への企業立地が促進されています。
- 港湾と高速道路ネットワークのアクセス強化により、物流の効率化が図られるとともに被災地の産業復興を支援します。

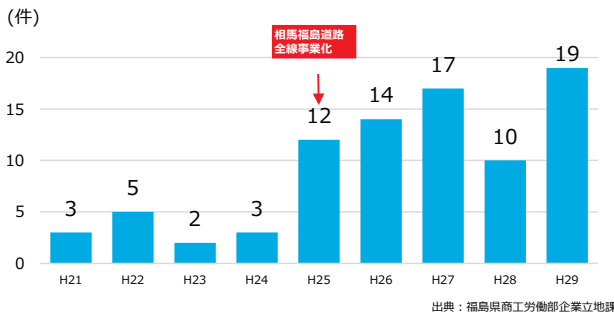
▼相馬港および周辺工業団地の企業立地状況



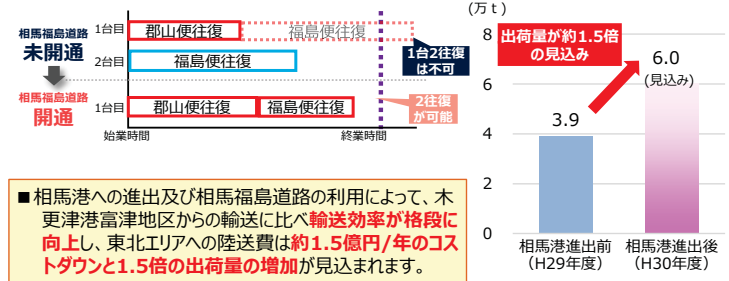
相馬港に進出した鉄鋼加工メーカー(H30.6操業開始)の輸送効率化の事例



▼相双地域における工場新增設件数



▼相馬福島道路利用による輸送効率化



参考

— 東北地方の広域的な道路ネットワークが形成 —

- 東北中央道の開通により、広域的な通行経路の選択が可能となり、悪天候や災害時においても寸断されない信頼性を確保
- 相馬IC～横手JCT間における所要時間は約100分(約3割)短縮

▼高規格ネットワーク図

▼東北中央道(相馬IC～横手JCT間)の所要時間変化(将来)

